

受益者の皆さまへ



**インベスコ
プレミア・プラス・ファンド**
愛称：真分散革命

追加型投信／内外／資産複合

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて「インベスコ プレミア・プラス・ファンド」は、
2018年11月20日に第8期の決算を行いました。ここに期中
の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2024年11月20日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。 債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。 実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
主要運用対象	インベスコ プレミア・ プラス・ファンド	インベスコ バランスト・ リスク・アロケーション マ ザーファンド」および「イン ベスコ マネーボール・ファ ンド（適格機関投資家私募 投信）」を主要投資対象とし ます。
	インベスコ バランスト・リスク・ アロケーション マザーファンド	別に定める投資信託証券※ への投資を通じて、日本を含 む世界各国の債券、株式、コ モディティに実質的に投資 します。 ※別に定める投資信託証券とは、 ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・バランスト・リス ク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託 証券（円ヘッジ付）です。
	インベスコ マネーボール・ファンド （適格機関投資家私募投信）	主として、円貨建ての短期公 社債および短期金融商品に 投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 	
分配方針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時

運用報告書（全体版）

第8期

（決算日 2018年11月20日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	み 金		
	円		円	%	百万円
4期(2016年11月21日)	10,049		0	3.2	98.8
5期(2017年5月22日)	10,522		0	4.7	96.7
6期(2017年11月20日)	10,788		0	2.5	98.4
7期(2018年5月21日)	10,906		0	1.1	98.4
8期(2018年11月20日)	10,165		0	△6.8	98.8

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落		投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	騰 落		
(期首) 2018年5月21日	円 10,906			% -	98.4
5月末	10,972			0.6	97.9
6月末	10,789			△1.1	98.8
7月末	10,737			△1.5	98.8
8月末	10,676			△2.1	98.1
9月末	10,592			△2.9	98.2
10月末	10,162			△6.8	98.8
(期末) 2018年11月20日	円 10,165			△6.8	98.8

(注) 基準価額は1万円当たりです。

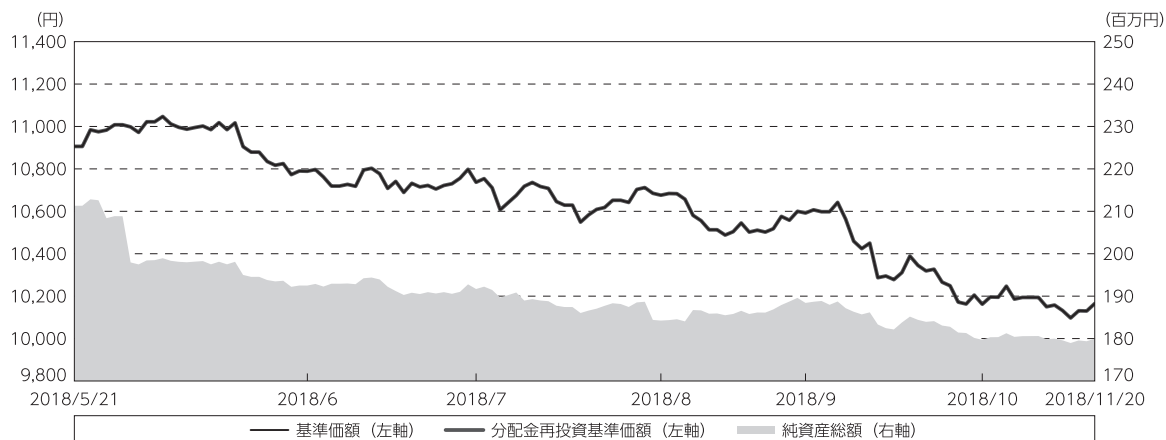
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年5月22日～2018年11月20日)



期首：10,906円

期末：10,165円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 6.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年5月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、資源資産(コモディティ)の配分を決定した結果、コモディティ価格の下落局面において、資産配分を低め(アンダーウェイト)としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- 日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、①国によるばらつきはあったものの、株式市場が全般的に下落したこと、②コモディティ価格が大きく下落したこと一などが基準価額の下落要因となりました。

投資環境
《債券市場》

米国30年国債	3.276% (前期末 3.180%)	英国10年国債	1.513% (同 1.636%)
ドイツ10年国債	△0.067% (同 0.057%)	日本10年国債	0.596% (同 0.616%)

※上記は各国債先物の当期末の最終利回りです。

当期の世界の債券市場は、米国を除き主要市場で長期金利が低下（債券価格は上昇）しました。①世界的な米国との貿易摩擦に対する懸念、②欧州諸国の政治リスクの高まり—などが金利の低下要因となりました。

《株式市場》

米国S&P500種指数先物	△3.4%	英国FTSE100種総合株価指数先物	△11.5%
欧州Euro Stoxx50指数先物	△12.6%	日本TOPIX先物	△10.6%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は下落しました。企業決算は比較的良好だったものの、①米中貿易摩擦の激化に対する懸念、②ドイツやイタリアなどの政局不安、③中国経済の先行き不透明感の台頭—などから、欧州やアジアを中心に株価が大きく下落しました。一方で、米国では雇用統計などを中心に経済が比較的堅調さを保ったことなどから、株価の下落は限定的なものにとどまりました。

《コモディティ市場》

エネルギー（WTI原油）	△18.8%	工業金属（銅）	△11.2%
貴金属（金）	△5.1%	農産物（RICI）	△8.8%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なETCの価格を用いて計算しています。

当期のコモディティ市場は、エネルギーをはじめとする全ての市場で下落しました。①世界景気の減速への懸念、②米国の原油在庫の大幅な増加—などを要因に、2018年10月以降、エネルギーの価格が大幅に下落しました。また、銅をはじめとする工業金属の価格も大きく下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ バランスド・リスク・アロケーション マザーファンド（以下、マザーファンドといいますが）を高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンを獲得をめざしました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいますが）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスド・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、コモディティの資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、コモディティへの投資は上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

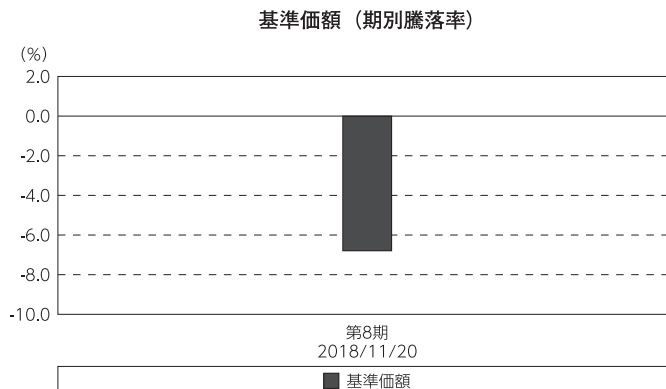
- ・株式は、期末を除いて資産を高め（オーバーウェイト）に維持しました。
- ・債券は、期を通じておおむねオーバーウェイトとしました。
- ・コモディティは、期初を除いてアンダーウェイトとしました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2018年5月22日～ 2018年11月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	890

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざします。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、コモディティの配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、コモディティ上場投資証券、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月22日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	50	0.466	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(5)	(0.043)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(43)	(0.406)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.054	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(5)	(0.043)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	56	0.520	
期中の平均基準価額は、10,654円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年5月22日～2018年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	千口 15,675	千円 17,292	千口 32,689	千円 36,687

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月22日～2018年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
インベスコ	マネーボール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	1,499	1,499	1,495	0.8
	合 計	1,499	1,499	1,495	0.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
インベスコ	バランス・リスク・アロケーション マザーファンド	186,214	169,200	179,471

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,495	0.8
インベスコ バランス・リスク・アロケーション マザーファンド	179,471	99.1
コール・ローン等、その他	195	0.1
投資信託財産総額	181,161	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	181,161,027
投資信託受益証券(評価額)	1,495,401
インベスコ バランス・リスクリゾーション マザーファンド(評価額)	179,471,165
未収入金	194,461
(B) 負債	1,179,811
未払解約金	194,461
未払信託報酬	882,808
その他未払費用	102,542
(C) 純資産総額(A - B)	179,981,216
元本	177,067,306
次期繰越損益金	2,913,910
(D) 受益権総口数	177,067,306口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,165円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	193,756,875円
期中追加設定元本額	16,278,212円
期中一部解約元本額	32,967,781円

○損益の状況 (2018年5月22日～2018年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△11,693,115
売買益	563,620
売買損	△12,256,735
(B) 信託報酬等	△ 985,350
(C) 当期損益金(A + B)	△12,678,465
(D) 前期繰越損益金	13,175,992
(E) 追加信託差損益金	2,416,383
(配当等相当額)	(2,599,451)
(売買損益相当額)	(△ 183,068)
(F) 計(C + D + E)	2,913,910
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	2,913,910
追加信託差損益金	2,416,383
(配当等相当額)	(2,599,417)
(売買損益相当額)	(△ 183,034)
分配準備積立金	13,177,198
繰越損益金	△12,679,671

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整後の有価証券売買等損益(0円)および分配準備積立金(13,177,198円)より分配対象収益は15,776,615円(1万口当たり890円)となりましたが、基準価額水準、市況動向および残存信託期間等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。



運用報告書

第4期

決算日 2018年11月20日

(計算期間：2017年11月21日から2018年11月20日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none">・主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに投資します。なお、別に定める投資信託証券においては、債券、株式への投資は、当該資産への直接投資の他、先物取引、オプション取引などのデリバティブ取引を活用します。また、コモディティへの投資は、上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用します。・別に定める投資信託証券への投資を通じて、債券、株式、コモディティ3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。・別に定める投資信託証券において、その運用方針として対円で為替ヘッジを行うことを掲げている場合は、原則として為替ヘッジを行いません。別に定める投資信託証券において、為替変動の影響を受ける実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	別に定める投資信託証券※ ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2014年11月28日	10,000		—	—	465
1期(2015年11月20日)	9,612		△3.9	98.0	493
2期(2016年11月21日)	10,269		6.8	98.1	319
3期(2017年11月20日)	11,146		8.5	97.9	214
4期(2018年11月20日)	10,607		△4.8	98.2	179

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2017年11月20日	11,146		—	97.9
11月末	11,299		1.4	98.3
12月末	11,345		1.8	98.6
2018年1月末	11,417		2.4	99.2
2月末	11,217		0.6	97.9
3月末	11,074		△0.6	98.4
4月末	11,154		0.1	99.3
5月末	11,400		2.3	97.8
6月末	11,219		0.7	98.7
7月末	11,174		0.3	98.6
8月末	11,120		△0.2	97.8
9月末	11,039		△1.0	97.3
10月末	10,598		△4.9	98.3
(期 末)				
2018年11月20日	10,607		△4.8	98.2

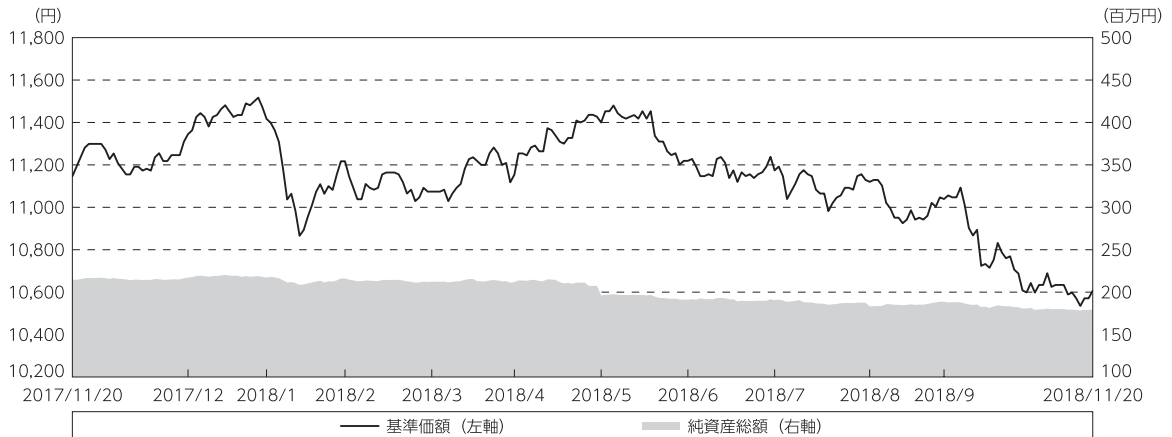
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年11月21日～2018年11月20日)



期首：11,146円
 期末：10,607円
 騰落率：△ 4.8%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象としているため、天然ガス、軽油、原油、灯油などのエネルギー価格が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、①株式市場の上昇局面で資産配分を高め（オーバーウェイト）としたこと、②コモディティ価格が低下する局面で機動的に資産配分を低め（アンダーウェイト）としたこと一が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・①米国を除く株式市場が下落したこと、②米国での物価上昇（インフレ）に対する懸念の高まりや、好調な米国や欧州の景気を背景に世界の主要債券市場で長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと、③エネルギーを除くコモディティ価格が大幅に下落したこと一などが基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債	3.276% (前期末 2.719%)	英国10年国債	1.513% (同 1.326%)
ドイツ10年国債	△0.067% (同△0.220%)	日本10年国債	0.596% (同 0.598%)

※上記は各国債先物の当期末の最終利回りです。

当期の世界の債券市場は、主要市場で変動性の高い展開となりました。①世界同時景気拡大の持続、②各国政府・中央銀行の経済・金融政策一などの金利の上昇要因と、③世界的な米国との貿易摩擦に対する懸念、④欧州諸国の政治リスクの高まり一などの金利低下要因の影響を受け、金利は変動性の高い推移となりました。

《株式市場》

米国S&P500種指数先物	+2.2%	英国FTSE100種総合株価指数先物	△5.9%
欧州Euro Stoxx50指数先物	△12.7%	日本TOPIX先物	△7.8%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は米国を除き下落しました。トランプ政権による税制改革への期待や良好な企業決算などは好感されたものの、①米中貿易摩擦の激化に対する懸念、②ドイツやイタリアなどの政局不安、③中国経済の先行き不透明感の台頭一などから、欧州やアジアを中心に株価が大きく下落しました。一方で、米国では雇用統計などを中心に経済が比較的堅調さを保ったことなどから、期末時点の株価は前期末を上回りました。

《コモディティ市場》

エネルギー（WTI原油）	+5.1%	工業金属（銅）	△12.1%
貴金属（金）	△4.9%	農産物（RICE）	△6.1%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なETCの価格を用いて計算しています。

当期のコモディティ市場は、エネルギー価格が上昇した一方、それ以外のコモディティ価格は下落しました。①石油輸出国機構（OPEC）による協調減産の期限延長、②中東情勢の不透明感や米国の対ロシア制裁一などを背景に、エネルギー価格が大幅に上昇しました。ただし、2018年10月以降は①世界景気の減速への懸念、②米国の原油在庫の大幅な増加一などを要因に、急落しました。工業金属は、中国の景気減速への懸念などから価格が下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、コモディティの資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、コモディティへの投資は上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

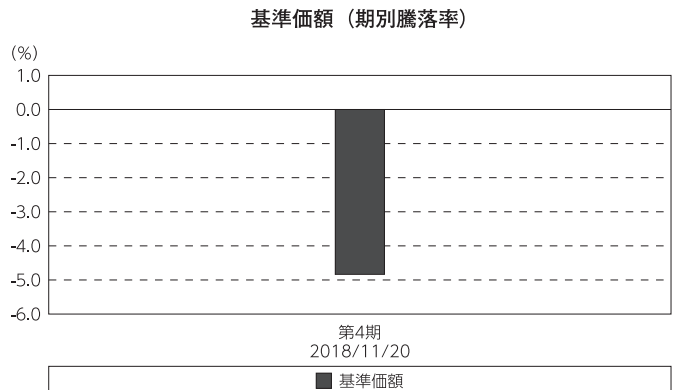
市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

- ・株式は、期末を除いてオーバーウェイトを維持しました。
- ・債券は、国や地域によって機動的に資産配分を変更しました。
- ・コモディティは、2017年11月から2018年5月は全品目でおおむねオーバーウェイトとし、2018年6月以降は、各コモディティの価格や市況の変動に対応して資産配分を機動的に変更し、全体ではアンダーウェイトとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランススト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、コモディティの配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、コモディティ上場投資証券、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

○当ファンドのデータ

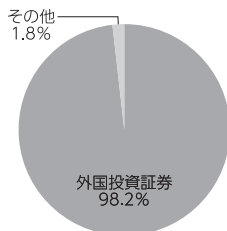
(2018年11月20日現在)

【組入上位ファンド】

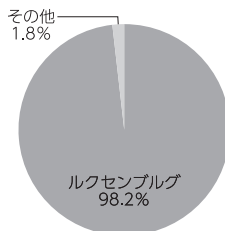
銘柄名	第4期末
インベスコ・バランススト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	98.2 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

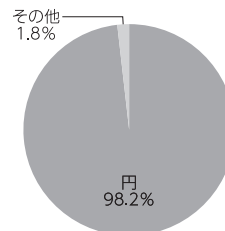
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,171円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位未満を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年11月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	千口 4	千円 5,600	千口 25	千円 31,000

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	173	152	176,277	98.2
合 計	口 数 ・ 金 額	173	176,277	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 98.2% >	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	176,277	98.1
コール・ローン等、その他	3,394	1.9
投資信託財産総額	179,671	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	179,671,086	
コール・ローン等	3,393,473	
投資証券(評価額)	176,277,613	
(B) 負債	194,470	
未払解約金	194,461	
未払利息	9	
(C) 純資産総額(A-B)	179,476,616	
元本	169,200,684	
次期繰越損益金	10,275,932	
(D) 受益権総口数	169,200,684口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,607円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	192,746,700円
期中追加設定元本額	22,794,945円
期中一部解約元本額	46,340,961円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ プレミア・プラス・ファンド	169,200,684円
合計	169,200,684円

○損益の状況 (2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 3,495	
支払利息	△ 3,495	
(B) 有価証券売買損益	△ 8,600,711	
売買益	503,988	
売買損	△ 9,104,699	
(C) 保管費用等	△ 85	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 8,604,291	
(E) 前期繰越損益金	22,083,797	
(F) 追加信託差損益金	2,487,585	
(G) 解約差損益金	△ 5,691,159	
(H) 計(D+E+F+G)	10,275,932	
次期繰越損益金(H)	10,275,932	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- ・当ファンドの主要投資対象ファンドにおける運用方法の一部変更(株価指数オプション取引の活用など、デリバティブ取引の活用範囲の拡大)に伴い、また、当該主要投資対象ファンドの運用をよりの確に反映するため、当ファンドの投資信託約款中「運用の基本方針」に掲げる「投資対象」および「投資態度」の記載に必要な変更を行いました。(2018年3月23日)

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド

「インベスコ バランス・リスク・アロケーション マザーファンド」が主要投資対象として
いる「インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド」の直近の情報は以下の通
りです。

当ファンドは、「インベスコ バランス・リスク・アロケーション マザーファンド」が投資
対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘ
ッジ付）です。

○ファンドの仕組み

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
投 資 対 象	債券、株式、コモディティの3資産に投資します。
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な金融市場と低中相関で、中長期的にトータル・リターンを得ることを目標とします。 ・ 3資産への投資に当たっては、景気減速期、経済成長期、インフレ期といった経済環境において異なる値動きをする資産間で、戦略的配分および戦術的配分を行います。 ・ 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
管 理 会 社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投 資 顧 問 会 社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決 算 日	毎年2月末
分 配 方 針	分配は行いません。

インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2018年2月28日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

(2017年3月1日から2018年2月28日までの期間)

(単位：ユーロ)

収益	
受取利息（債券）	11,613,275
マーケットディスカウントの増価／（マーケットプレミアムの償却）	(22,614,593)
その他収益	105,594
	(10,895,724)
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	32,018,692
サービス代行報酬	6,623,591
保管報酬	309,529
ルクセンブルグの税金	1,311,280
事務代行費用	356,198
当座借越利息	1,566,131
スワップに係る支払純利息	2,976,332
	45,161,753
当期投資純利益／（損失）	(56,057,477)
受益証券発行／（買戻）による純収益／（支払）金	655,483,791
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る実現純利益／（損失）	148,056,836
為替先物予約に係る未実現評価益／損の純変動額	34,785,601
先物契約に係る未実現評価益／損の純変動額	(60,577,721)
コモディティ・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	17,337,074
投資有価証券に係る未実現評価益／損の純変動額	(49,697,575)
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益／損の純変動額	(236,122)
期首純資産額	2,583,078,469
期末純資産額	3,272,172,876

○投資有価証券明細表

					(2018年2月28日現在)			
銘柄					額面/株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)	
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券								
債券								
オーストリア								
Republic of Austria Government Bond 144A 1.15%	EUR 19/10/2018	280,000,000	283,066,000	8.65				
カナダ								
Royal Bank of Canada 1.38% USD 15/10/2018		116,000,000	96,768,323	2.96				
フィンランド								
Finland Government Bond 144A 1.125% EUR	15/09/2018	20,000,000	20,182,300	0.62				
ドイツ								
Bundesobligation 1% EUR 12/10/2018		250,000,000	252,541,250	7.72				
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 3.75%	EUR 04/01/2019	180,000,000	186,785,100	5.71				
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 4.25%	EUR 04/07/2018	250,000,000	254,153,750	7.77				
Bundesschatzanweisungen 0% EUR 16/03/2018		200,000,000	200,044,000	6.11				
Bundesschatzanweisungen 0% EUR 15/06/2018		250,000,000	250,436,250	7.65				
Bundesschatzanweisungen 0% EUR 14/09/2018		250,000,000	250,825,000	7.67				
Bundesschatzanweisungen 0% EUR 14/12/2018		30,000,000	30,147,900	0.92				
					1,424,933,250	43.55		
オランダ								
Netherlands Government Bond 144A 0% EUR	15/04/2018	200,000,000	200,130,000	6.11				
債券合計					2,025,079,873	61.89		
証書								
アイルランド								
Source Physical Gold P-ETC		1,285,000	135,330,167	4.13				
イギリス								
ETFS Aluminium		27,000,000	73,295,081	2.24				
証書合計					208,625,248	6.37		
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計					2,233,705,121	68.26		
2010年12月17日の集団投資事業に関する法律 第41条1Hに規定される短期金融商品								
Barclays BDS 0% EUR 31/10/2018		147,957,397	147,957,397	4.52				

銘柄	額面/株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
2010年12月17日の集団投資事業に関する 法律第41条1Hに規定される短期金融商品合計		147,957,397	4.52
その他の譲渡性のある有価証券			
債券			
カナダ			
Canadian Imperial Bank of Commerce 0% USD 02/04/2019	145,000,000	118,685,883	3.63
Royal Bank of Canada 0% USD 04/02/2019	17,000,000	13,914,897	0.42
		132,600,780	4.05
債券合計		132,600,780	4.05
その他の譲渡性のある有価証券合計		132,600,780	4.05
オープン・エンド型投資信託			
アイルランド			
Invesco Short-Term Investments Co Global Series - Euro Liquidity Portfolio	296,206,302	294,910,400	9.02
オープン・エンド型投資信託合計		294,910,400	9.02
投資有価証券合計		2,809,173,698	85.85

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△2,181
支払利息	△2,181
(B) 信託報酬等	△ 54
(C) 当期損益金(A+B)	△2,235
(D) 前期繰越損益金	△4,040
(E) 追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
(F) 計(C+D+E)	△6,200
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△6,200
追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
分配準備積立金	49
繰越損益金	△6,324

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46円)および分配準備積立金(49円)より分配対象収益は95円(1万円当たり0.39円)となりましたが、基準価額水準、市場動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。